

2022/3/28開催 オンライン説明会 Q&A

整理番号		区分	質問事項	回答
1	事前	制度	制度の対象は？年齢、学歴や職歴は関係しますか？ どういう業務に従事している人が対象になりますか？	制度の内、認定審査に関しては、URAスキル認定制度で定義している人材、すなわち「大学等組織全体を俯瞰しながら、学術的専門性を理解しつつ、自身の業務に関する専門性とセクターに偏らない能力を駆使して、多様な研究活動とそれを中心に派生する様々な業務に積極的かつ創造性をもって関わり、研究者あるいは研究グループの研究活動を活性化させ、組織全体の機能強化を支える人材」が対象となります。業務内容や業務レベルは異なっても上記の業務に携わっている人であれば役職名問わず対象となります。 一方、研修の受講の対象は、要件が定められているもの以外では上記の業務に従事あるいは興味をもっている人はどなたでも利用可能です。 <制度の対象> ・Fundamentalレベルの研修：URAに限らず、大学等における研究支援業務に興味のある大学・企業等の研究者、事務職員、大学院生等、どなたでも受講できます。受講対象者に制限はありません。URAとしての業務経験がない人でも受講できます。 ・Coreレベルの研修：Fundamentalレベルの研修を修了した人です。 ・認定URAの申請要件は次の通りです。申請者の職名がURAである必要はありません。 ①大学等においてURA業務あるいは類似の業務の経験が現在を含め3年以上あること ②Coreレベルの研修を修了していること
2	事前	制度	URAでなければ対象外なのでしょうか？	本制度はURAという職名であるかどうかではなく、どういう業務に従事しているか、ということが重要です。本制度の対象はURAスキル認定制度で定義している人材、すなわち「大学等組織全体を俯瞰しながら、学術的専門性を理解しつつ、自身の業務に関する専門性とセクターに偏らない能力を駆使して、多様な研究活動とそれを中心に派生する様々な業務に積極的かつ創造性をもって関わり、研究者あるいは研究グループの研究活動を活性化させ、組織全体の機能強化を支える人材」です。
3	事前	制度	認定をとらないとURAとして就職できないのですか？	認定されていることを採用時に求めるかどうかは採用側の判断になります。認定証及び研修の修了証は発行されますので、研修修了済み、認定の保有などを履歴書等に記載いただいた上で、採用側の判断になります。
4	事前	制度	認定と職階の関係はどうなりますか？	認定が特定の職階（職務）と紐づくことはURAスキル認定機構としては想定していません。採用・配置する側の判断で、ある役職には認定URA以上を求め、といったことが可能性としてはあるかもしれませんが、URAスキル認定機構としてそのようなことを求めているではありません。
5	事前	制度	海外の大学事務でも通用するようなスキルが、本認定制度で得られますか？	日本で通用するスキルをこの制度では考えています。海外では国ごとにURAに求められるスキルが違っていますから、本制度のすべてのスキルが通用することはありません。一方、まったく役に立たないということでもありません。
6	事前	制度	機関等によってURAの役割が大きく異なる中で、統一的な指標（認定）にどういう意味があるのか？	認定を受けたということは、客観的に見て、URAとして働くのに必要な能力が担保されているということです。それは学位に似ています。学士（工学）という指標で、電気工学、機械工学、土木工学等、多くの分野のスキルに対して統一的な認定をしています。この認定により、その人の能力があるレベルに達していることを世の中は認めています。
7	事前	制度	組織によって求められるスキルは異なるが、それをどうやって一般化して評価するのか？	組織によって求められるスキルが異なることを認識しつつ検討して一般化したものがスキル標準です。本認定制度の評価方法はスキル標準に拠って構築されています。組織によって求められるスキルは異なりますが、本制度では統一されたレベル感（ものさし＝スキル標準）に基づき多様なスキルのレベルを評価することを目的とします。スキルの多様性がある中でそれを同じ評価軸（レベル感）で評価することにより、URA自身のレベル感を客観視することが可能となり、またそれにより目標設定などによるさらなるスキルの向上といったバイラルアップが期待できると考えます。
8	事前	制度	キャリアアップにどう役立つのですか？	多様な業務に携わるURAを共通のレベル感（ものさし＝スキル標準）に基づいて評価することで、機関を超えたレベル感の共有が可能になります。それにより、異動時等のキャリアリセット（待遇のリセット）の防止や適切なポジション・待遇など処遇という観点でキャリアアップに役立つと考えます。またレベル感が明確になることで、URA自身のスキルアップ（苦手分野の明確化や高めべき知識・スキルの明確化等）にもつながると考えます。
9	当日	制度	逆に、認定制度が壁となって優秀な人材のセクター間移動の妨げになっては国の施策と反するのではないかと。また、認定によって処遇、例えば昇給が保証されないのなら認定制度の定着は難しくないか。また、どれだけ認定の正確性や質が担保できるのか。この制度の機能に関してのフィードバックシステムはないのか。改良に生かすなど。	国の施策であるURAの質保証という観点に沿って、認定制度は構築されています。セクター間移動は望ましいことですが、質保証がなされて初めて効果的になると思います。認定の正確性や質をどのように担保するか、それがこの制度の根幹です。安定的な質の担保のための制度構築として、審査プロセスの改善や審査員の育成に努めています。
10	当日	制度	個人の資格であるという事は理解しましたが、受験料の団体割引の検討はしていただけないでしょうか？	現時点では団体割引等については検討するかどうかも含めて未定です。
11	当日	制度	認定は3年の経験後、受講科目の合格は4期2年有効とのことですが、新卒URAのコース設計としては、どのようなおすすめの受講時期、認定の受ける時期を想定されていますか？	受講期間や認定時期は、業務の内容に応じて、各自で考えていただければよいものと考えます。一気に受けるのも、段階的に受けるのもいずれでも可です。なお、認定申請資格である研修修了の有効期間は10期5年です。
12	当日	制度	産休・育休取得後2年前にURAとして復職しました。産休・育休取得前もURAとして働いていましたが、直近の3年で評価されるということは、復職後3年が認定には必要ということでしょうか？	ご指摘の点については今後明文化します。ライフイベントについては優遇措置を取る方向で早急に検討します。
13	当日	制度	この制度は国家資格を狙っているのでしょうか。認定でなく資格制度がベースになるのではないだろうか。	国家資格ではありませんが、文科省の政策に基づく制度です。資格ではなくあくまでの個人の能力認定制度であるご理解ください。
14	当日	制度	研修を受けなくても認定を受けることは可能なのでしょうか？	認定を受けるには研修修了が必須です。研修なしで認定に申請することはできません。
15	当日	制度	受講料と審査料がそれぞれ3万円ということは、認定URAに認定されるには、Fundamental研修の受講料3万円、Core研修の受講料3万円、認定URAの審査料3万円が合計9万円必要になるという理解で合っていますでしょうか？	その通りです。自身のキャリア設計の中で受講や認定申請を検討してください。
16	当日	制度	小規模大学の場合、間接経費での雇用が多いです。その場合にこのようなプログラムを受講するにあたって負担が大きく、大学側に業務として認めてもらうことが難しいです。そのような小規模大学に向けて何か働き方をしていたりすることは想定されていますでしょうか？	この制度の周知については、文部科学省を介すことを含めできる限り広範囲に行う予定です。その上で、業務として認められるかは最終的には大学の判断となります。制度の利用による認定者のメリットだけではなく、機関が研修受講者、認定取得者を配置することのメリットについても紹介できるよう検討します。
17	事後	制度	対象者の定義が少し抽象的であり、分かっている人にはわかるのかもしれないが、そうでない素人には少しURAの定義が分かりにくかった。	URAの定義が抽象化しているのには理由があります。本制度では、URAあるいは研究支援人材として多様な業務に従事されている方を可能な限り対象とするためです。排除するのではなくより多くを取り込む、という観点で制度設計がなされているために、結果的に抽象的な表現になっています。具体的には、スキル標準に列記されている22の業務のいずれかに従事している人とご理解ください。
18	事後	制度	今後の展望	R4年度中にAdvancedレベルの研修を開始する予定にしています。またR5年度中に認定専門URAの審査を開始できるよう検討を進める予定にしています。

整理番号		区分	質問事項	回答
19	事後	制度	スキル認定保持者の優位性	URA (あるいは類似職) として関わる業務全般の知識を一定レベル以上備え、かつ大学等、我が国の研究組織での一つ以上の中核的業務 (当該URAが主に従事している業務) の経験を有し、研究者、研究グループの研究活動の活性化に主体的に関わる能力を備えた人材であることが認定されている人であることを対外的に示すことができます。
20	事後	制度	これまで複数の機関を経験しているが、組織によりURAの意味が異なる。特に産学連携との関わりなど、ここで作られている基準の基本的な考え方がまだよく分からない。	組織によりURAの意味がかなり異なるとの認識の下、多くの研究機関を調査して作られたのが、スキル標準です。URAの業務内容を広くカバーするとともに、スキルカードによってレベル感を表しています。本認定制度は、このスキル標準の考え方に基づいています。
21	事後	制度	小規模大学の教員です。自身が主導で研究活動を行っています。今日の説明を聞いて、私のような場合はURAとしての経験があると考えられるのか、また大学教員のURAとしての可能性についてを知りたいと思いました。	URA人材に示した業務に従事されていると判断されれば対象となります。ご自身の研究活動自体はURA業務ではありませんが、他の研究者の支援 (外部資金獲得等) はURA業務に当たります。研究者であるとともにURA業務に従事している人、自身の研究は止めてURA業務に就いている教員も多くおられます。
22	事後	制度	更新のときの制度の確立を早めをお願いできればと思います。例えば更新料だったり、更新に必要な研修内容だったり。5年間だけでも9万円もお支払いするような制度ですので、その先を見据えた費用等も考慮させていただいて取得できればいいと考えます。	更新についてはできるだけ早く検討します。更新料は審査料を超えることはないという認識で議論されています。
23	事後	制度	実際の実務と認証との関連性、どれだけ制度認証が現場や処遇に生かされるのかという今後の課題かもしれませんが、そこが明確なら聴く方にはよりリアルに受け止められたのではないかと思います。	この点については実際の認定者へのインタビューなどよりリアルな声をお伝えできるように協力を得て進めていきたいと考えています。
24	事後	制度	受講期間はFundamental, Coreともに各1か月で、現在URAとして職務についていなくても受講でき、試験の合格を持って修了とし、2年間の有効期限がある。認定は3年のURAの業務経験とその業績についてのアピール文や所属長の承認により審査が行われる、ということは、認定URAになるにはURAとして職を得なければ業績を積み上げることが難しいのではないと思うが、理解が間違っているのだろうか。	認定を受けるには知識だけでなく、URA業務の経験が必要になります (ただし、URAという職名である必要はありません)。採用前や経験がない場合は、研修の修了をアピールすることができます。
25	事後	制度	やはり立ち位置がどうしてもわかりにくい。お金を払って何のメリットがあるのか。	メリットとしては、認定を受けるための研修受講や申請準備のプロセスでスキルが向上することが第一に考えられます。そして、認定を受けることで、URAとしての信頼性が高まることと、雇用者側の判断によりますが、処遇が改善される可能性があるということだと思います。
26	事後	制度	なぜこのご時世に新たに利権団体を作らなければならないのか	利権団体ではありません。我が国の研究力の低下が問題となっている状況の下で、URAの質の向上を通して、大学等の研究戦略の立案、研究推進の支援から経営全般に至る研究環境の充実とイノベーションの創出に寄与することを目指しています。
27	事前	研修	すでに実施されている類似の研修や所属機関の研修受講歴は考慮されないのでしょうか	既存の研修の読替については今後の検討課題です。読替を適用するか、適用する場合いつから開始するかについては現時点では回答できません。
28	事前	研修	受講期間はどのくらいですか?	Fundamental, Coreレベルとも受講期間は30日間です。
29	事前	研修	どうやって受講するのですか?	Fundamental, Coreレベルともオンデマンド方式による受講です。
30	事前	研修	不合格になった場合は、もう一度全て受け直す必要があるのでしょうか?	合格科目の有効期間 (4期2年) 内であれば不合格科目のみ再受講して、修了することができます。その期間終了後は全科目改めて受講していただく必要があります。
31	当日	研修	オンデマンドの研修は、1コマの時間はおよそどのくらいですか?	科目によって異なります。シラバスに記載しています。シラバスはURAスキル認定機構のwebサイトに掲載していますのでご確認ください。https://www.crams.or.jp/syllabus/
32	当日	研修	研修の科目が22科目あるとのことですが、1科目あたりの研修時間は何時間くらいでしょうか?	研修科目はFundamentalレベル、Coreレベルとも15科目です。研修時間は科目毎に異なります。60分から90分程度を一つの目安としてください。なお、URAスキル認定機構のWebサイトに講義時間を含むシラバスを掲載しています。
33	当日	研修	前期にFundamentaを1受講し、後期にcore受講することも可能でしょうか?	可能です。Fundamentalレベルの修了証の有効期間 (10期 (5年)) 内であればCoreレベルの受講が可能です。Fundamentalレベルの修了証の有効期間を過ぎると、Coreレベルは受講できなくなります。 (改めてFundamentalレベルからの受講が必要になります)
34	当日	研修	不合格科目のみ受講する場合の受講料はいくらですか?	1科目2,000円 (税込) です。
35	当日	研修	オンデマンドは何度も視聴できるのでしょうか。	受講期間内であれば何度でも視聴できます。
36	当日	研修	新卒や企業からの転職前にFundamental研修を受けておくのは良いと理解しました。そうであれば、研修レベルを満たしていることを履歴書に書けるようにFundamental研修習得者などが名乗れるような仕組みになっているのでしょうか (機構が保証して履歴書に書けるような名称がありますか) ?	FundamentalレベルやCoreレベルを修了した受講者には、修了証を発行しますので、ぜひ、それを活用してください。
37	当日	研修	不合格科目は4期までは再挑戦できるということでした。再挑戦にあたって、審査料を新たに支払う必要があるのでしょうか。審査料を一度払うと4期の間、効力が維持されるのでしょうか。	受講料については、受講する都度、受講科目ごとに払う必要があります。
38	当日	研修	研修資料は、受講者側で保存して見返せるような仕組みになっていますか?	研修用の資料は、受講期間中にダウンロードできるようになっています。各自でダウンロードしてください。ただし、受講者限りですので、他人に見せることは不可です。
39	事後	研修	制度の枠組み、はわかりましたが、中身のイメージは、シラバスを待つしかないと思いました。	シラバスについてはすでに公開されています。https://www.crams.or.jp/syllabus/
40	事後	研修	認定試験の問題がどのようなものか、どのくらいの難易度か	認定試験ではなく確認テストです。確認テストは研修の講義で学んだことを確認することを目的としたテストという位置付けです。したがって、講義内容を理解すれば合格するというレベルです。
41	事後	研修	同等レベルの研修の互換制度の適用の検討遅れによる活用ができないこと。検討中なのでかと思いますが心配です。	既存の研修との科目単位の読替については検討予定ですが、多くのことが現時点では未定です。
42	事後	研修	URA未経験者が受講して意味があるものかどうかという点。	URA業務や研究機関に関わる広範な知識を習得する上で、特にFundamental研修は有効と考えています。研修内容はシラバスで公開していますのでご確認ください。
43	事前	認定	認定URAであることを名刺に記載できますか?	できます。また、認定証も発行します。
44	事前	認定	認定の合格率は?	相対評価ではなく、基準を満たせば合格という絶対評価になります。したがって、事前に設定、あるいは推定できません。認定審査後に申請者数と認定者数を公表します。
45	事前	認定	審査員によって評価が異なるのではないかと?	個々の審査員の評価が大きく異なるないように、レベル感を共有するために事前に審査員研修を行い、審査委員会で意見交換を行うなどの仕組みを整えています。
46	事前	認定	大学以外の経歴 (企業等) は考慮されるのか?	大学等以外 (企業等) の業務経験は、考慮されます。詳細はスライド32をご覧ください。
47	事前	認定	業務経験は大学での業務経験を指すのか?	実施要項に「大学等」と記載しています。「大学等」とは、大学だけでなく、大学共同利用機関、高等専門学校や国・自治体の研究機関も含まれます。
48	当日	認定	大学ではなく、国立研究開発法人に属する研究機関での該当職種の勤務年数の考え方はどのようになっているのでしょうか?	大学等に含まれます。実施要項に記載していますが、「大学等」とは、大学だけでなく、大学共同利用機関、高等専門学校や国・自治体の研究機関も含まれます。従って、国立研究開発法人は大学と同等に扱われます。
49	当日	認定	申請要件の「同等」が分かりにくい。大学に少なくとも3年以上勤めていないと実際は「同等」とならないのでしょうか。	実施要項に詳細を記載していますが、大学等 (大学共同利用機関、高等専門学校や国・自治体の研究機関等) のURA業務経験年数はそのまま算入されます。企業での経験年数も算入されますが、その詳細はスライド32をご覧ください。

整理番号		区分	質問事項	回答
50	当日	認定	認定URAの定義の文章が長いのですが、何が「AND」で、何が「OR」なのかわかりません。整理していただけるとありがたいです。	基本的には、ANDで読んでください。
51	当日	認定	国際的なURA認定制度との整合性はありますか？	各国でURAの認定制度の内容が異なるため、整合性はありません。
52	当日	認定	大学ではない研究機関でも、記載のスキルは整合取れていますでしょうか？	基本的には大学ではない研究機関も含めた設計です。
53	当日	認定	以前大学に勤務しており、URAの経験がある（＝現役URAではない）ような場合でも、認定URA資格はあるのでしょうか？（URA経験の賞味期限・・・）	現在のスキルを認定することが本来の目的であるため、直近3年の経験を基本とします。
54	当日	認定	申請要件の3年以上ですが、3年が経過しないと認定を申請できないのでしょうか。例えば4月から業務を始めた場合、3年目の後期（2年11ヶ月あたり）に認定申請書を提出できるのでしょうか。それとも3年が経過した4年目前期（3年5ヶ月あたり）にならないと認定の申請ができないのでしょうか。	基本的には3年を満たすということが、申請の前提条件となります。なお、3年の有無は、申請締切日を基準に考えます。
55	当日	認定	読み替えは検討中とのことですが、認定期間が5年であることを考えると、研修時期が5年を過ぎたものは、加味されないと考えたほうがよいでしょうか？	読み替えの検討時に参考とさせていただきます。
56	事前	認定	どうして認定期間は5年間なのですか？	現時点のスキルを評価するという考え方のため、更新を前提に制度設計がなされています。あまりに古い経験や実績に基づいて認定されたスキルでは、現在の実務をこなすスキルの保証としては信頼性が不十分と考えるからです。
57	当日	認定	認定URA・認定専門URAともに認定期間が5年とありましたが、期間終了後はどうなるのでしょうか？	期間終了後は、引き続き更新いただくことで、更に5年間、継続して認定を受けることができます。なお、更新に関する手続きについては、検討中です。
58	当日	認定	認定の更新については、どのように行われる予定でしょうか？その際（例えば認定URAから認定URAへの更新の場合）、研修を受け直す必要はあるのでしょうか？	具体的な更新手続きは検討中です。申請者にとって負担が大きくない方向を基本としています（全ての研修を改めて受けてもらうということはありません）。
59	当日	認定	認定URAになってから5年経った際、更新が必要と思われそうですが、その際はどういう手続きになるのでしょうか？ファンダメンタルから研修を受けなおす必要があるのでしょうか？	具体的な更新手続きは検討中です。申請者にとって負担が大きくない方向を基本としています（全ての研修を改めて受けてもらうということはありません）。
60	当日	認定	認定URAはすべてのスキルをクリアしていることが必要なのでしょうか。それともどれか、でよいのでしょうか。	本制度における「スキル」は業務遂行能力と業績で構成されています。さらに業務遂行能力は知識・理解力と問題解決能力で、業績は経験あるいは実績に分解されます。認定URAの場合は、知識・理解力はFundamentalレベルとCoreレベルの研修で最低限を担保し、問題解決能力を審査で確認、さらに経験を審査で評価することとしています。認定URAとして認定されるためには、まず、FundamentalレベルとCoreレベルに求められる修了要件を達成している必要があります。そのためには、開講する15科目をまんべんなく理解する必要があります。審査においては、申請者が従事した特定の業務において、スキルがスキル標準の中級レベルの基準を満たしていれば問題ありません。
61	当日	認定	認定を取得するメリットと取得しないデメリットを教えてください。	統一された指標（ものさし）に基づく認定ですので、ご自身のスキルを対外的に見る化して説明することができます。また、認定のレベルが設定されていることで、自身のレベルアップの動機付けになると考えられます。加えて認定を取得する過程での研修を通して、URA業務に関わる広範な基礎的な知識を体系的に学ぶことになり、自身の業務改善や新たな視点の獲得が期待され、それに業務の効率化や新たな業務への挑戦なども期待されます。デメリットは、時間や費用がかかるということがあります。
62	当日	認定	現在、認定も持っている人が日本にはいないのですが、審査員はどのような方がなるのでしょうか？審査員の選定方法を教えてください。	本制度の検討に関与いただいているURA関係団体から審査員として適した方の推薦（推薦理由あり）を受け、審査員候補者とします。その候補者の中から認定委員会で選考しています。将来的には認定を受けた方の中から審査員をお願いする可能性もあります。
63	当日	認定	スキルカード初級、中級、上級の複雑性についてですが、結果への寄与度を書いていますが、どのような基準で測りますでしょうか	この点については感覚的なものにならざるをえません。寄与度はレベル感の一部であって、業務にどのような姿勢で関わったのか、その結果どのような結果につながったのかということも含めて評価されます。結果への寄与度の％は初級、中級、上級のレベルの相対的な違いを表す感覚的なものだとして理解してください。結果がURAの寄与だけで得られる、つまり寄与度100％ということはありませんので、50％はかなりの大きな寄与、30％は十分な寄与、10％は少しの寄与というレベル感が妥当だと思います。
64	当日	認定	3年前はAの範囲の業務を行い、その後Bの範囲の業務になった場合、3年以上の業務経験と扱ってもらえるのでしょうか。	それらがURAに関わる業務であれば、業務経験として扱います。
65	当日	認定	転職した場合、前職での所属長の署名をもらうことが難しいかと思いますが、その場合の手続きはどのようになりますでしょうか。	前任機関に関する記載事項が事実であるかどうかの確認を行うため、前職の所属長にも署名をもらう必要があります。ただ、異動等は当然起こり得ることですから、所属長に拘ることなく、準ずる方でも構わないこととしています。準ずる方の範囲は、役職上、確認者であることが適当と考えられる方であればよく、柔軟に考えて下さい。
66	当日	認定	認定URAと認定専門URAの違いである「主体的」と「主導的」の違いは、前者は1人、後者は誰かを率いて、という感じでしょうか。	イメージとしてはその通りです。ただ、部下がいなくても研究等、関係者を巻き込んで主導的に取り組む場合も考えられます。
67	当日	認定	「主導的」についてですが、もし、組織上部下がない場合で、1人で主導的に業務を進めている場合はどうなるのでしょうか？	部下がない・いないには関係ありません。研究者や事務職員を含め、チームで仕事をする際に、リードできることを「主導的」としています。ただし、リーダーになるという意味ではなく、URAとしての役割として他の職種の人達と協働してリードする場合を含みます。
68	当日	認定	現在URAですが、数か月後に退職予定です。退職後、無所属であっても認定を受けられるのでしょうか	無所属でも、何らかの形（たとえば、委託）でURA業務に従事して、申請要件を満たしていれば受けられます
69	当日	認定	企業経験を1/2とされたのはどのような根拠があるのでしょうか。	企業等で同じような経験をされている方がいらっしゃることは承知していますが、認定においてはやはり大学での業務経験に基づき判断すべきということで、1/2という結論となりました。
70	当日	認定	企業に所属していても、大学と綿密な連携をしながら（例えば）共同研究を進めていた場合、ある意味、大学に所属している初級URAよりも高度なスキルを持って活動している場合があると思います。そこは加味していただければ良いと思います。	認定制度は、あくまでも大学等でURAとして業務をすることを念頭に設計しています。そのため、業務内容によってはURA業務の経験年数に含めますが、その場合でも、少なくとも1年間の大学等の立場でのURA業務等の経験を必要とするという形にしています。
71	当日	認定	人文系のURA業務にもご理解のある審査体制でしょうか。	学術分野に影響されることはありません。
72	当日	認定	試験が得意だが実務的に問題があるような場合の人と、試験合格もでき、かつ、実務も申し分ない人との区別ができないと、こちらの認定基準の評判にも繋がりがうな気がします。	ご指摘のような懸念が生じないように、審査プロセスの改善と審査員の育成をしています。100％完全とは保証できませんが、評判を落とすことにはならないようにできると考えています。
73	当日	認定	Fundamentalからやらなければならないなら、ある程度中・上級職についている人は講習しないと思う。初級免除の案件があればいいと思う。	中・上級職に就いておられる方でも、Fundamentalの研修内容のような広い知識を持っている方は少ないと思いますので、どのような経験を積まれている方にもFundamentalレベルからの受講をお願いしています。
74	事後	認定	審査基準（特に業務経験）	業務経験については評価項目とスキルカード（中級）に基づいて審査されます。説明会資料の31～33枚目をご覧ください。
75	事後	認定	具体的にどんなことが認定されるのか不明だった	それぞれの認定レベルに示した人材像とスキルに基づき認定されます。具体的には、審査において設定されている評価項目が満たされていることが、保証されるということになります。

整理番号		区分	質問事項	回答
76	事後	認定	認定URAの受審に関して、大学等以外での経験年数を従事年数の1/2と換算することの理由に興味を感じます。「大学等で少なくとも1年間の経験を有する」のみで良いのではないのでしょうか。	審査においては、経験したURA業務の内容と量や問題解決能力の自立性を評価することになっています。その判断材料として、1年程度の経験では不十分と考え、3年の経験が必要としています。その上で、多くの方が申請できるように、企業等の経験年数を算入できることとしています。
77	事前	その他	URAスキルの認定機関は、「一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構」だけでしょうか？他の組織でも認定審査が受けられるのでしょうか？	現時点では「一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構」だけです。
78	事前	その他	URAの業務は多岐に渡り、基本的な事務的スキルやコミュニケーション能力も欠かせない。認定者と認定をとっていない者でどのような役割分担を行うことが理想的だとお考えなのかお聞きしたいです。	それぞれの機関が判断されることですが、認定を持っている人は最低限の知識を幅広く備えていることが保証されています。そういう認識で役割を考えられるとよいと思います。業務の進め方や関係者との話の内容が認定を持っていない人と違うことが大いに考えられます。
79	事前	その他	採用者側に対して求めることがあれば教えてください。	認定を受けたということは、URAとして、ある程度の能力が担保されているということになります。こうした人材を積極的に配置することで、それぞれの研究機関における研究力強化・発信力強化など研究の推進に必要な環境を整えていただくと良いかと思えます。
80	事前	その他	URAの流動性を高める効果も期待されますが、現時点で本制度を全国の大学に浸透させることについてご見解を頂きたいです。	本制度の導入は我が国の研究機関における研究状況の悪化が背景としてあります。従いまして、URA個人のスキルの向上だけではなく、研究機関としての機能強化が最終的な目標です。そういう意味でも、できるだけ多くの研究機関に認定を受けたURAを配置していただくことが重要だと考えています。そのために、URAスキル認定機構は周知・啓蒙の活動をしていくこととしています。
81	事前	その他	認定制度がURAの方々の待遇や評価の向上に繋がるのか否か、繋がる場合はどの程度の向上が期待できるのか	認定を受けた人がそれぞれの機関でどれだけ認められるか、ということにかかっています。そういう意味で、審査、認定をしっかりと行うことが重要であると考えています。
82	事前	その他	この制度をどのように利用するかは各大学の判断でしょうか？文科省等から利用に関するガイドライン等はございますでしょうか？	この制度の利用は、基本的に、各大学等の判断によります。また、この制度に関してのガイドラインはございません。ただ、文科省やJSTの公募事業において認定を受けたURAの配置を推奨するなどのことについては当機構を中心に働きかけを行う予定です。
83	事前	その他	「これからURAを目指す人」に対しては何か関係しますか？	事前に研修を受講することで、URAの業務についての知識が取得できます。
84	事前	その他	東京大学の学内URA認定の申請準備をしています。貴コンソーシアムの構成機関にも東京大学が含まれていますが、別の扱いなのでしょうか？教えてくださいと幸いです。	本機構の認定制度は、東京大学等各大学が独自に取り組まれている認定制度とは異なる制度です。